

日本の国立公園

国立公園で働く方にその国立公園の魅力を訊きます

国立公園とは、日本を代表する自然の風景地を環境大臣が指定し、自然の保護や利用を図る地域のこと。日本には現在30の国立公園があり、裏磐梯は磐梯朝日国立公園に指定されています。

「白山国立公園」

昭和37年11月12日指定／陸域面積49,900ha／石川・福井・岐阜・富山

白山自然保護センター所長 梅 典雅さんよりご紹介いただきます



白山は、養老元年（717）、越前の僧、^{たいちゆう}泰澄によって開かれたとされています。現在も全国に約3千社ともいわれる白山神社の総本宮、白山比咩神社の奥宮を祀る信仰の山であり、富士山、立山とともに「日本三霊山」に数えられています。

白山の自然・景観を特徴付けているものとしては、まず、火山地形が挙げられます。活火山である白山の山頂部には、七つの火口湖があり、お池巡りコースとして親しまれています。白山はまた、江戸期から学者に登られたため、和名にハクサンを冠する植物が18種もあるなど、花の名山としても有名です。なかでもクロユリの群生は日本有数であり、ハクサンコザクラと並ぶ白山を代表する花です。標高（2,702m）の割に高山植物が豊かなのは、その名も示す多雪にあるとよいでしょう。また、自然度の高い見事なブナ林が各所にあり、大型ほ乳類やイヌワシなどの生息地となっています。

白山は、最短コースでも5～6時間を要しますが、子どもから高齢者まで登ることができます。山頂下の室堂などで1泊し、ゆったりと自然や歴史を満喫する登山がおすすめです。



大汝峰から主峰の御前峰（右）と剣ヶ峰・翠ヶ池



室堂平のクロユリと御前峰



ハクサンコザクラ

◆石川県白山自然保護センター <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/hakusan/>

ようこそ！ビジターセンターへ

裏磐梯ビジターセンターの活動を紹介します

今年のゴールデンウィークもにぎわいました！

今年も大型連休はたくさんの来館者でにぎわいました。4月26日～5月6日は、おなじみの「スライドーク」と「ワンポイントウォッチング」を毎日開催しました。五色沼や磐梯山の成り立ちなどテーマ別にスタッフがお話するスライドトーク。裏磐梯で「今」見られる生き物もご紹介し、その後ワンポイントウォッチングで本物の生き物に会いに行きました。裏磐梯を何度も訪れている方も初めての方も、成り立ちなど秘密に驚いたり、今まで気づかなかった生き物たちの営みに気づいたり、「一度わかると」ただの景色にどんどん色んな命が見えてくる！」と大好評でした。



裏磐梯だより「季節の一枚」写真展開催中！

昨年度まで「裏磐梯だより」の表紙を飾っていた「季節の一枚」の写真展をレクチャールームで開催しています。



「裏磐梯だより」No.48～No.65まで過去3年分の18枚の写真を展示しました。ぜひ、カラーの「季節の一枚」を見に来てください。

裏磐梯だよりNo.66